

伝産×〇〇のシナジー（CASE10：ICWイノベティブクラフトワークス）

◆ ポイント

伝統的工芸品である「京表具」の技とデジタル技術を応用し、現代のライフスタイルに合わせた「ランプシェード」を製作。補助金を活用しながら新商品開発を行っていた組合事業部からのスピンアウト。

◆ 経緯

代表の木南氏が、表具屋としての照明器具（和紙）の張り替えの仕事をする中で、顧客からの「フレームのない照明器具」の声をもとに着想を得、デザイナーからの声かけもあり取組を開始した。その後、（一社）伝統的工芸品産業振興協会のコンペに挑戦したところ、見事入賞を果たす。このコンペを一つのきっかけに、国の伝産補助金を活用しながら、組合内で意匠開発を進めてきた。しかし、組合では京表具本来の仕事から派生した本取組を進めることが難しく、また、なかなか売り上げにつながらなかったことから、「組合事業ではなく、独立して結果を残すべき」という代表の思いのもと、令和4年1月に満を持して組合員3名からなる同社を設立させた。

◆ 取組内容

筑波大学システム情報系 三谷純教授が開発された折り紙プログラムソフトを利活用し、デザイナーの平瀬尋士氏がデザインしたものを、表具師が様々な意匠に折り上げて、折り紙ライティング“折灯華”を製作。表具師の伝統技術である、「丁寧な折り込み」と「裏打ち※」により和紙のみで骨格のないランプシェードを実現している。様々な材質や色の和紙を用いたランプシェードのデザインは無限大。現在は西陣織の帯地を用いた製品製作にも挑戦中。今後はランプシェードだけでなく器具の材質などにもこだわっていくなど、さらなる展開を見据え、日々チャレンジを続けている。



〈自然な明かりを提供〉

※「裏打ち」とは、作品（本紙）の裏に紙を張り合わせる作業。本体の紙をピンと張った美しい状態に保ち耐久性も向上するなど重要な工程にあたる。

現代の生活に溶け込む 新たな伝統の技 ～折灯華～



■ 木南代表より一言！

ICWイノベティブクラフトワークスは約1300年伝わる京表具の伝統技術を使った現代のライフスタイルにフィットする新商品を開発、製造、販売する企業です。一押し商品の折り紙ライティング"折灯華"は折り紙の"折り"のみで形成したフレームレスの全く新しいライティングです。表具技術を取り入れた伝統の"灯"を是非お楽しみください。



■ 会社概要

[INNOVATION CRAFT WORKS 合同会社](#)

設立 2022年

代表 木南 拓也

住所 京都府京都市中京区聚楽廻中町27-12 弘誠堂内